

テクトロニクス／フルーク 8845A型・8846A型デジタル・マルチメータ ファクト・シート

重要な項目を優れた精度、汎用性で測定



機能

特長

6.5桁分解能	電圧、抵抗、電流の正確な測定が可能
周波数、周期、キャパシタンス*、温度*測定	多機能DMM、カウンタ、キャパシタンス・メータ、温度計機能が1台になるため、コストとベンチ・スペースが節約できる
特許スプリット・ターミナル・ジャック	2本のリードで4線式測定が可能
Trendplot™ペーパーレス・レコーダ・モード	ドリフトや間欠イベントをグラフィカルに表示
ヒストグラム・モード	ヒストグラムで観測することにより、安定性やノイズ問題を検出
統計モード	平均値、最小値、最大値、標準偏差など、複数の統計値を観測することで信号の変動を把握
数字とグラフのデュアル・ディスプレイ・モード	1回の接続で同じ信号から2種類のパラメータまたは数値／グラフを表示可能
どの測定機能も1回のボタン操作で実行可能	頻繁に設定する機能やパラメータは前面ボタンで実行できるため、セットアップや検証の時間が短縮可能
USBホスト・ポート*1	前面パネル・ポートに接続したフラッシュ・メモリにデータを保存可能
PCとの接続性	さまざまなインタフェース・ポートと簡単に接続し、FlukeView® Formsソフトウェアを使用することで、測定結果が簡単に転送でき、文書化することが可能

*1 8846A型のみ

期待以上の性能と価値



8845A型・8846A型は14種類の測定機能、演算、解析モードを搭載

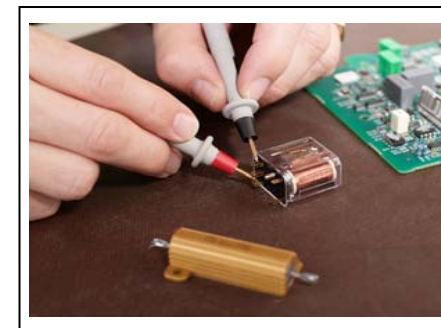
主な特長:

- 6.5桁分解能
- 直流電圧基本最高確度: 0.0024% (8846A型、1年)
- 前面パネル、後部パネルの入力端子
- 真の実効値交流
- 電流レンジ: 100 μ A ~ 10A、最高分解能: 100pA
- 抵抗レンジ: 10 Ω ~ 1G Ω 、最高分解能: 10 μ Ω (8846A型)
- 2本のテスト・リードで4線式抵抗測定
- 周波数と周期の測定
- キャパシタンスと温度の測定 (8846A型)
- Trendplot™ペーパーレス・レコーダ・モード、統計、ヒストグラム
- Fluke45、Agilent34401Aリモート・コマンド・エミュレーション・モード
- 前面パネルにUSBホスト・ポート (8846A型)
- 後部パネルにRS-232、IEEE-488、Ethernetポート
- FlukeView® Formsソフトウェア(ベーシック版)が付属
- CAT I 1000 V、CAT II 600 V

8845A型・8846A型デジタル・マルチメータ ファクト・シート

主な仕様とオーダ情報

型 名	ディスプレイ	分解能 (桁数)	測定項目	直流電圧基本最高精度[1年] (読み値の%+レンジの%)
8845A型	デュアル、数値とグラフ	6.5	交流電圧、直流電圧、直流電流、交流電流、抵抗、導通、ダイオード、周波数、周期	0.0035+0.0005
8846A型	デュアル、数値とグラフ	6.5	交流電圧、直流電圧、直流電流、交流電流、抵抗、導通、ダイオード、周波数、周期、温度、キャパシタンス	0.0024+0.0005



アクセサリ
- TL 71 テスト・リード×1 - 予備ヒューズ - 日本仕様の電源ケーブル - 日本語ユーザ・マニュアル - 各種マニュアル(CD-ROM) - FlukeView Forms ソフトウェア(ベーシック版) - 保証期間- 1 年間 8845A-SU型、8846A-SU型では以下のものも含まれます。 - FlukeView Formsソフトウェア(アップグレード版) 884X-USB:RS-232 — USBアダプタ・ケーブル

推奨アクセサリ、テスト・リードとプローブ
884X-RTD 100 Ω RTD温度プローブ(8846A型のみ)
TL71 テスト・リード
TL2X4W-PTII 2線式4 端子抵抗測定用1000Vテスト・リード
マニュアル プログラマーズ・マニュアル、校正マニュアル
AC4000 ソフト・キャリング・ケース

主なアプリケーション	特 長
組込みシステムの設計とデバッグ	1台の計測器で電圧、抵抗、電流、周波数が測定できるため、スペースを節約できる - リアルタイム・トレンド・プロットまたはヒストグラムのデータを観測することにより、ドリフト、トランジェント、安定性などの信号品質問題が把握できる - データ・ログは内部メモリまたはUSBデバイス(8846A型)に保存可能
自動テスト	- エミュレーション・モードにより、従来のベンチトップ・タイプのDMMに代わってテスト・システムに組み込み可能 - SCPI対応のアプリケーション言語、開発言語やドライバを使用することでリモート制御が可能 - 毎秒1000回以上の測定更新により、優れたスループットを実現